



河津桜、一気に満開

3/17
コノハナロード今が見頃

延岡

延岡市野地町の五ヶ瀬川右岸堤防（愛称「コノハナロード」）に植樹

された河津桜「天下一ひむか桜」が満開になった。穏やかな青空

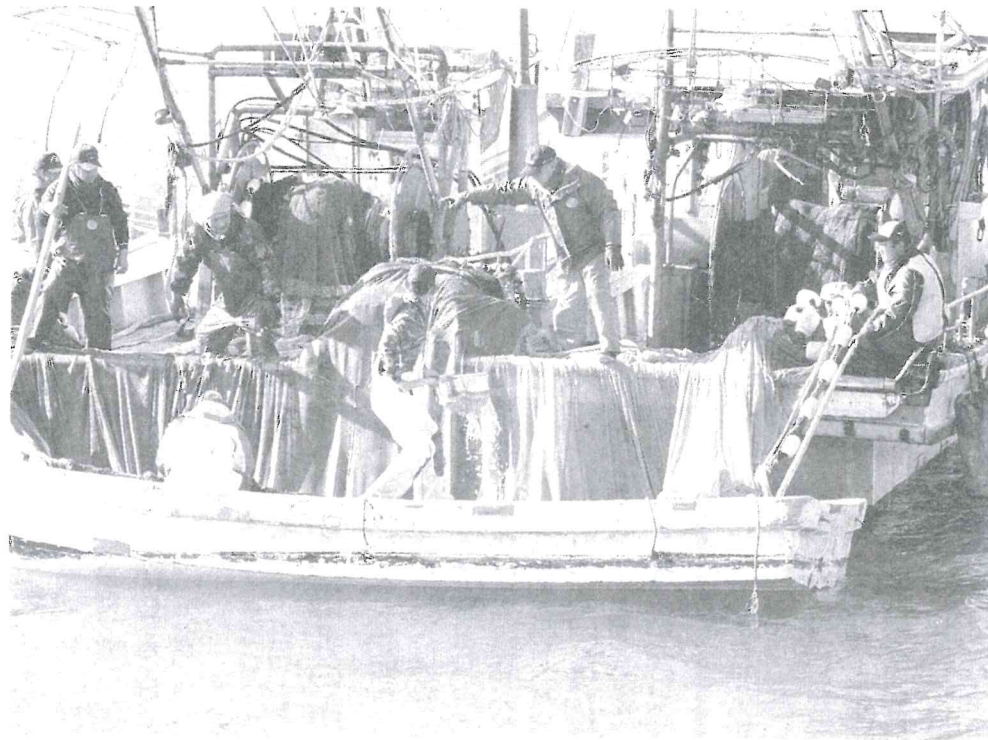
が広がったきのう、多くの人が散歩に訪れ、一足先に見頃を迎えていた菜の花と共に楽しんでいた。

同所は、同市のNPO法人「コノハナロード」が主催する「延岡市民応援隊」の会

が日々の整備、管理を担っている。菜の花は昨年11月に種をまき、水やり、草取りなどを

しながら育て、1月下旬から鮮やかな黄色の花を咲かせていた。河津桜は今月上旬から徐々に咲き始め、天気が回復した15、16日に一気に満開となった。本来、同堤防は観光イベント「延岡花物語」の会場となるはずだったが、今年はコロナ禍のため、イベントの中止が決まっている。

海産稚アユ漁 一斉解禁



湾内で海産稚アユ漁を行う門川漁協の組合員(16日、門川町)

内門川湾で採捕続く

県
3/17
12月ごろから姿を確認
今季に期待

川に遡上(そじょう)する前の稚アユを採捕する海産稚アユ漁が13日、県内で一斉に解禁された。門川町の門川湾では16日、県の特別採捕許可を受けた門川漁協(黒木巧組合長)の組合員が早朝から出漁。網を引く2隻の漁船と運搬船が湾内を行き来した。

アユは秋に川でふ化し、沿岸の海水域で5センチ前後に成長、2月末から3月にかけて再び生まれ川に遡上する。稚アユの採捕は基本的に禁止されているが、県は養殖業の振興を目的に特別に許可している。昨年は稚アユ資源の回復が確認できないとして、延岡湾では採捕許可を出さなかった。今年も申請がなかった。

県北では門川町の2業者と日向市の1業者が採捕申請をしており、採捕

量の上限は門川・日向地区で3000匹、期間は13日から3月13日まで。この間に4日以上休漁日を設けること、期間中に採捕上限に達した場合は終了することを条件としている。

門川湾とそれにつながる河川では、昨年12月ごろから稚アユの姿が確認されており今季の漁に期待が高まっていた。初日の13日は波が高かったせいか、ほぼ空振りに終わったが、天候が回復した今週から本番になる

という。

黒木組合長は「稚アユの生息数が多いという手

応えはあるが、型は小さい物が多く5センチ前後の物は既に遡上した可能性が

高い。アユは夕方になると集団になる習性があるので、その群れに当たればいいのですが」と話していた。

高い。アユは夕方になると集団になる習性があるので、その群れに当たればいいのですが」と話していた。